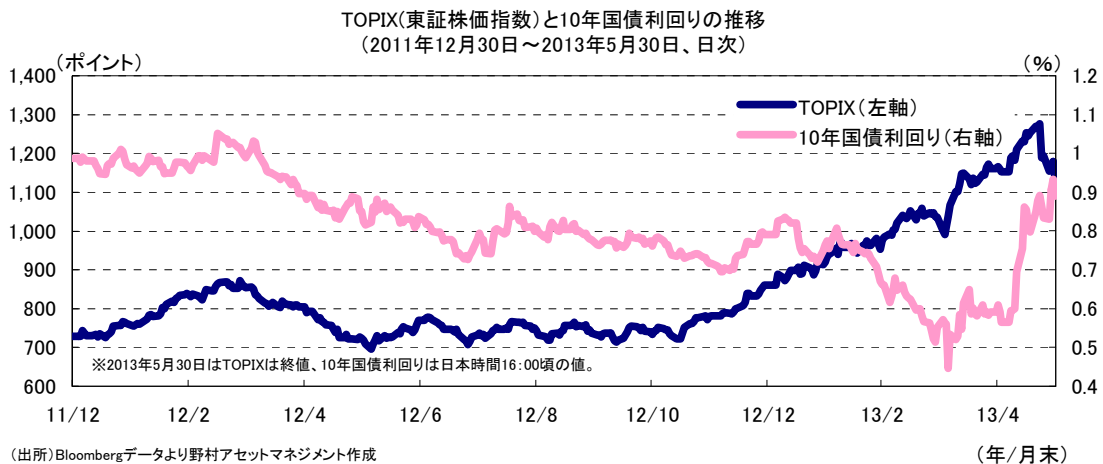


### 5月30日の日本株式の下落について

30日の日本株式は3日ぶりに急反落し、TOPIX(東証株価指数)で前日比3.8%の下落率となりました。TOPIXの終値は1134.42ポイントと、4月19日以来、ほぼ1ヵ月半ぶりの安値で取引を終えました。今月22日につけた高値(終値ベース)からの下落率は11.1%となりました。

米国の量的緩和政策の早期縮小観測や低調な欧州経済などから、海外投資家を中心にリスク回避の動きが強まるとの警戒感が浮上しました。また、1米ドル=100円台まで進んだ円高も嫌気され、業種を問わず売られTOPIXの大幅下落につながりました。

なお、一部値高株の大幅下落が影響し、日経平均株価は前日比5.1%の下落と、TOPIXと比較して下落率が大きくなりました。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。